



『うろおぼえ一家のおかいもの』 出口かずみ/作 理論社 2021年



何をするにも忘れがちなあひるの一家。
家族みんなでお買い物をしにでかけますが、
「あれ？買うものはなんだっけ？」

さて、お目当てのものを無事に買うこと
はできたのでしょうか？

『うろおぼえ一家のおかいもの』
出口かずみ/著 理論社

あひる家族のみんなの会話のやりとりを読み進めると、「細かいことを気にしてもしかたない」と少しだけ心が軽くなるような気持ちになります。暑さの厳しいときは、是非涼しい場所で、絵本の世界を楽しんでみませんか？

休館日のお知らせ

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

※○の付いている日が休館日です。 ※土日祝日は午後5時までの開館です。

※9月23日（月・祝）は所沢分館臨時休館日です。

《発行》所沢図書館所沢分館 所沢市元町 27 - 1 ☎04-2923-1243

指定管理者：株式会社ヴィアックス

とこぶん通信

2024

8-9

イベント掲示板

8月



映画会

こども映画会 11時～（10時45分開場）

8/11（日）『マドレーヌとジプシー』

8/18（日）『日本の昔ばなし キジとカラス他』

市民映画会 14時～（13時30分開場）

8/11（日）『靴ひも』

8/18（日）『モリのいる場所』



おはなし会

8/3（土） 8/17（土）

親子おはなし会

8/23（金）

夏休みこども映画会

8/4（日）14時～

おはなし会

夏休みスペシャル

8/25（日）10時半～



映画会

こども映画会 11時～（10時45分開場）

9/8（日）『星の王子さま プチ・プランス』

9/15（日）『チップとデール リスの山小屋合戦他』

市民映画会 14時～（13時30分開場）

9/8（日）『タイム・マシン』

9/15（日）『あの群青の向こうへ』

おはなし会

9/7（土） 9/21（土）

親子おはなし会

9/27（金）



※おはなし会はいずれも10時30分から開始

※映画会は当日先着順です。満員時は入場できません。

9月



本の世界に入ってみよう！

合成撮影で本の世界へ。

「おおきなかぶ」「あらいぐまのクーちゃん」「ひみつのぼっけ」

「金のおの 銀のおの」の4作品の中から選んで撮影します。

撮影した動画はDVDにして各組1枚プレゼントします。

日時：2024年9月14日（土）

① 13:00 ② 14:00 ③ 15:00（開場各回10分前）

※お申し込みの際にご希望の参加時間をお伝えください。

定員：①5組 ②4組 ③5組

対象：小学生以上 参加費：無料

申込：2024年8月10日（土）9:30より受付開始

お電話又は所沢分館カウンターにて受付いたします。

定員に達し次第、お申込みを終了とさせていただきます。

とこふんトピックスーオーディオブック

オーディオブックとは、「耳で読む本」とも呼ばれる音声コンテンツです。名作文学から落語、教養にいたるまで各種ジャンルにわたり約7000タイトルをナレーターやプロの声優、俳優が朗読しています。目で読む読書が困難な方、音楽のように読書を楽しみたい方にもおすすめです。パソコン・タブレット・スマートフォンからご利用になれます。

利用対象：所沢市在住・在勤・在学の方（利用券発行済）

利用方法：①所沢図書館ホームページにログイン

②オーディオブックコンテンツ一覧や資料検索からコンテンツをさがす。

③ご自宅のパソコンやスマートフォンで再生

※通信料は利用者負担となります。



『7分間SF』草上仁／著
早川書房

『7分間SF』

草上仁／著 早川書房

7分で読めるSF短編集。全11話収録。

SFといっても難しすぎず、スラスラ読めます。

「カツシ岩」辺境の惑星で見つけた大きな岩を調査したり。「免許停止」まさかの資格を剥奪されたり。「スリープ・モード」機械だけでなく人間もスリープモードになれる世界で、葉の間違いで身の危険に脅かされたり。「壁の向こうの友」分厚い壁の向こうの人間と、壁を叩き合うことでコミュニケーションをとったり。

驚くような結末や、最後まで読むことで意味が分かるお話に、もっと読みたいとなること間違いなし！

押し本

とこふんスタッフ選

『カフネ』

阿部 暁子／著 講談社 2024年

溺愛していた弟が、急死した。

遺言書に元恋人の小野寺せつなに遺産の一部を渡したいと書いてあったことから、野宮薫子は彼女を呼び出す。「遺産の受取は拒否する」と、そっけない態度をとるせつなに激化した薫子はその場で倒れてしまう。夫からも離婚を切り出されていた薫子は自暴自棄の生活を送っていたのだ。倒れた薫子を自宅に送り届けたせつなはその暮らしぶりを見ると、ありあわせの材料で温かい料理を作り、薫子に差し出す。それはとても美味しく、優しい味がした。

薫子はやがて、せつなが勤める家事代行業会社「カフネ」を手伝うことに。2人は料理や仕事を通して距離が近づいていく。そして薫子も知らなかった弟の姿とは一。やさしくも切ないお話です。



『カフネ』阿部 暁子／著
講談社